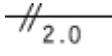
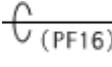
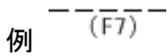
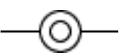
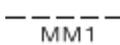
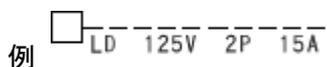
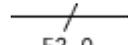
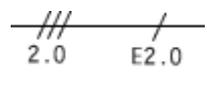
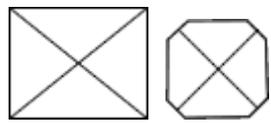


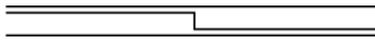
J I S C 0 3 0 3 構内電気設備の配線用図記号準拠

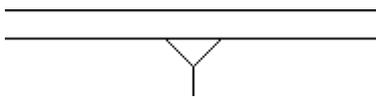
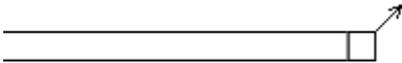
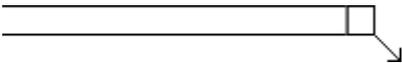
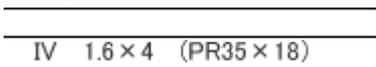
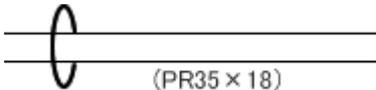
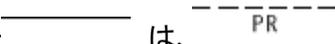
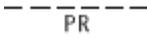
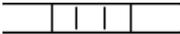
配線

名称	図記号	備考
天井隠ぺい配線		☆ 天井隠ぺい配線のうち天井ふところ内配線を区別する場合は、天井ふところ内配線に  を用いてもよい。
床隠ぺい配線		☆ 床面露出配線及び二重床内配線の図記号は、  を用いてもよい。
露出配線		☆ 電線の種類を示す必要のある場合は、下記表の記号が記載される。
		<p>記号 電線の種類</p> <p>IV 600Vビニル絶縁電線</p> <p>HIV 600V二種ビニル絶縁電線</p> <p>IC 600V架橋ポリエチレン絶縁電線</p> <p>EM-IE 600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線</p> <p>EM-IC 600V耐燃性架橋ポリエチレン絶縁電線</p> <p>EM-CE 600V架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケープル</p> <p>EM-EE 600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケープル</p> <p>EM-EEF 600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケープル平形</p> <p>OW 屋外用ビニル絶縁電線</p> <p>OC 屋外用架橋ポリエチレン絶縁電線</p> <p>DV 引込用ビニル絶縁電線</p> <p>CV 600V又は高圧架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケープル</p> <p>VVF 600Vビニル絶縁ビニルシースケープル(平形)</p> <p>VVR 600Vビニル絶縁ビニルシースケープル(丸形)</p>
		<p>☆ 絶縁電線の太さ及び電線数は、次のように記入する。単位の明らかな場合は、単位を省略してもよい。</p> <p>2.0 は直径、2 は断面積を示す。</p> <p>例 </p> <p>数字の傍記の例 2.0×2</p> <p>ただし、仕様書などで電線の太さ及び電線数が明らかな場合は、記載しなくてもよい。</p>
		<p>☆ ケーブルの太さ及び線心数(又は対数)は、次のように記入し、必要に応じ電圧が記載される。</p> <p>例 1.6mm 2心の場合 1.6-2C</p> <p>0.5mm 100対の場合 0.5-100P</p> <p>ただし、仕様書などでケーブルの太さ及び線心数が明らかな場合は、記載しなくてもよい。</p>
		<p>☆ 電線の接続点は、次のように記載される。</p> <p></p>

	<p>☆ 管類の種類を示す必要のある場合は、下記表の記号が記載される。</p> <table border="0"> <tr> <td>記号</td> <td>配管の種類</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>鋼製電線管(ねじなし電線管)</td> </tr> <tr> <td>PF</td> <td>合成樹脂製可とう電線管(PF 管)</td> </tr> <tr> <td>CD</td> <td>合成樹脂製可とう電線管(CD 管)</td> </tr> <tr> <td>F2</td> <td>2種金属製可とう電線管</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>フロアダクト</td> </tr> <tr> <td>MM1</td> <td>1種金属線ぴ</td> </tr> <tr> <td>MM2</td> <td>2種金属線ぴ</td> </tr> <tr> <td>VE</td> <td>硬質塩化ビニル電線管</td> </tr> <tr> <td>VP</td> <td>硬質塩化ビニル管</td> </tr> <tr> <td>HIVE</td> <td>耐衝撃性硬質塩化ビニル電線管</td> </tr> <tr> <td>HIVP</td> <td>耐衝撃性硬質塩化ビニル管</td> </tr> <tr> <td>FEP</td> <td>波付硬質合成樹脂管</td> </tr> </table>	記号	配管の種類	E	鋼製電線管(ねじなし電線管)	PF	合成樹脂製可とう電線管(PF 管)	CD	合成樹脂製可とう電線管(CD 管)	F2	2種金属製可とう電線管	F	フロアダクト	MM1	1種金属線ぴ	MM2	2種金属線ぴ	VE	硬質塩化ビニル電線管	VP	硬質塩化ビニル管	HIVE	耐衝撃性硬質塩化ビニル電線管	HIVP	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	FEP	波付硬質合成樹脂管
記号	配管の種類																										
E	鋼製電線管(ねじなし電線管)																										
PF	合成樹脂製可とう電線管(PF 管)																										
CD	合成樹脂製可とう電線管(CD 管)																										
F2	2種金属製可とう電線管																										
F	フロアダクト																										
MM1	1種金属線ぴ																										
MM2	2種金属線ぴ																										
VE	硬質塩化ビニル電線管																										
VP	硬質塩化ビニル管																										
HIVE	耐衝撃性硬質塩化ビニル電線管																										
HIVP	耐衝撃性硬質塩化ビニル管																										
FEP	波付硬質合成樹脂管																										
	<p>☆ 配管は、次のように記載される。</p> <table border="0"> <tr> <td>鋼製電線管(ねじなし電線管)の場合</td> <td>1.6(E19)</td> </tr> <tr> <td>合成樹脂製可とう電線管(管)場合</td> <td>1.6(PF22)</td> </tr> <tr> <td>2種金属製可とう電線管の場合</td> <td>2.0(F217)</td> </tr> <tr> <td>硬質塩化ビニル電線管の場合</td> <td>2.6(VE22)</td> </tr> </table> <p>電線の入っていない(PF 管)の場合 </p> <p>ただし、仕様書などで明らかな場合は、記入しなくてもよい。</p>	鋼製電線管(ねじなし電線管)の場合	1.6(E19)	合成樹脂製可とう電線管(管)場合	1.6(PF22)	2種金属製可とう電線管の場合	2.0(F217)	硬質塩化ビニル電線管の場合	2.6(VE22)																		
鋼製電線管(ねじなし電線管)の場合	1.6(E19)																										
合成樹脂製可とう電線管(管)場合	1.6(PF22)																										
2種金属製可とう電線管の場合	2.0(F217)																										
硬質塩化ビニル電線管の場合	2.6(VE22)																										
	<p>☆ フロアダクトの表示は、次のように記載される。</p> <p>例 </p> <p>ジャンクションボックスを示す場合は、次の様に記載される。</p> 																										
	<p>☆ ケーブルラックの表示は、次のように記載される。</p>  <p>サイズは傍記による。</p>																										
	<p>☆ 金属ダクトの表示は、次のように記載される。</p> 																										
	<p>☆ 金属線ぴの表示は、次のように記載される。</p> <p></p>																										

		<p>☆ ライティングダクトの表示は、次のように記載される。</p>  <p>□は、フィードインボックスを示す。 必要に応じ、電圧、極致及び容量が記載される。</p> <p>例 </p>
		<p>☆ 接地線の表示は、次の様に記載される。</p>  <p>例 E2.0</p>
		<p>☆ 接地線と配線を同一管内に入れる場合は、次のように記載される。</p>  <p>例</p> <p>ただし、接地線の表示Eが明らかな場合は、記載しなくてもよい。</p>
<p>引下げ</p> <p>立上り</p> <p>素通し</p>		<p>☆ ケーブルの防火区画貫通部は、次のように記載される。</p>  <p>防火区画貫通部は、次の様に記載される。</p> 
<p>プルボックス</p>		<p>☆ 材料の種類、寸法が記載してある。 ☆ ボックスの大小及び形状に応じた記載としてもよい。</p> <p>例 </p>

ジョイントボックス		
VVF用ジョイントボックス		
接地端子		☆ 医用のものは、Hが記載してある。
接地センタ		☆ 医用のものは、Hが記載してある。
接地極		<p>☆ 接地種別は、次の様に記載される。 A種 E_A、B種 E_B、C種 E_C、D種 E_D</p> <p>例  E_A</p> <p>☆ 必要に応じ、接地極の目的、材の種類、大きさ、接地抵抗値などが記載してある。</p>
受電点		☆ 引き込み口にこれを適用しても良い。
バスダクト		<p>☆ バスダクトの種類を示す場合は、次のように記載される。</p> <p>フィーダバスダクト FBD 低圧絶線形耐火バスダクト FPBD プラグインバスダクト PBD トロリーバスダクト TBD</p> <p>☆ 防雨形の場合は、WP が記載してある。</p> <p>☆ 材質、電気方式、定格電圧及び定格電流を示す場合は、次のように記載される。</p> <p>例  Cu-Fe FBD 3φ3W 300V 800A</p> <p>☆ エキスパンションを示す場合は、次のように記載される。</p> <p></p> <p>☆ オフセットを示す場合は、次のように記載される。</p> <p></p>

		<p>☆ タップ付を示す場合は、次のように記載される。</p>  <p>☆ 立上り、引下げを示す場合は、次のように記載される。</p> <p>立上り </p> <p>引下げ </p> <p>☆ 定格電流によって幅を変えて記載してもよい。</p>
合成樹脂線び		<p>☆ 電線の種類、大きさ、条数、線びの大きさなどを示す場合は、次のように記載される。</p> <p>例  IV 1.6 x 4 (PR35 x 18)</p> <p>電線の入っていない場合  (PR35 x 18)</p> <p>☆ 図記号  は、 で記載してもよい。</p> <p>☆ ジョイントボックスを示す場合は、次のように記載される。</p>  <p>☆ コンセントを示す場合は、次のように記載される。</p>  <p>☆ 点滅器を示す場合は、次のように記載される。</p>  <p>☆ 引掛ローゼットを示す場合は、次のように記載される。</p> 
増設		<p>☆ 同一図面で増設・既設を表す場合には、増設は下線、既設は細線又は点線とする。なお、増設、既設は色別してもよい。</p>
撤去		<p>☆ 撤去の場合は、×を付ける。例 </p>

名称	図記号	備考
一般照明 白熱灯 HID 灯		<p>☆ 器具の種類を示す場合は、文字記号などが記載される。</p> <p>☆ 具体的な種別を示す場合は、次の例による。</p> <p>ペンダント</p>  <p>シーリング(天井直行)</p>  <p>シャンデリヤ</p>  <p>埋込器具</p>  <p>引掛シーリング(角)</p>  <p>引掛シーリング(丸)</p>  <p>☆ 器具の壁行及び床付の表示</p> <p>1) 壁付は壁側を塗るか、又はWを記載してもよい。</p>  <p>2) 床付は、Fが記載してある。</p>  <p>☆ 容量を示す場合は、ワット(W) × ランプ数が記載してある。</p> <p>例  100  200 × 3</p>



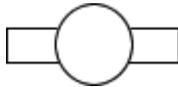
☆ **屋外灯**は  としてもよい。

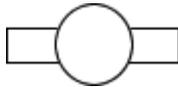
☆ HID 灯の種類を示す場合は、容量の前に次の記号を記載してもよい。

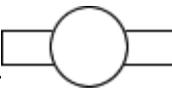
水銀灯 H
メタルハライド灯 M
ナトリウム灯 N

例  H100

蛍光灯



☆ 図記号は、 としてもよい。

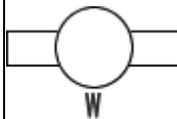
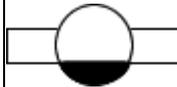
ただし、図記号  は、ボックス付を示す。

 は、ボックスなしを示す。

☆ 器具の種類を示す場合は、文字記号などが記載される。

☆ 器具の壁付及び床付の表示

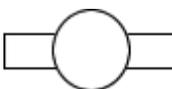
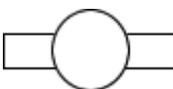
1) **壁付きは、壁側を塗るか、又はWを記載**してもよい。

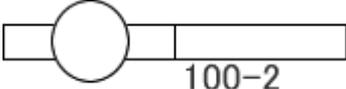
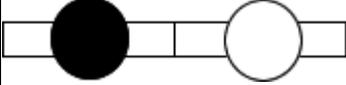


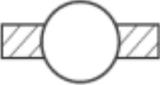
2) 床付は、Fを表示してもよい。



☆ 容量を示す場合は、ワット(W) × ランプ数が記載してある。

例  100  F60 × 2

		<p>☆ 器具内配線のつながり方を示す場合は、次のように記載される。</p>  <p>例</p> <p>☆ 器具の大小及び形状に応じた記載としてもよい。</p> 
<p>非常用照明 (建築基準法による)</p> <p>白熱灯</p> <p>蛍光灯</p>	 	<p>☆ 器具の種類を示す場合は、文字記号などが記載してある。</p> <p>☆ 白熱灯を一般蛍光灯に組み込む場合は、次の図記号でもよい。</p>  <p>☆ 階段に設ける通路誘導灯(蛍光灯形)と兼用のものは、次の図記号でもよい。</p>  <p>☆ 壁付は、Wを記載してもよい。</p> 
<p>誘導灯 (消防法による)</p> <p>白熱灯</p> <p>蛍光灯</p>	 	<p>☆ 器具の種類を示す場合は、文字記号などを記入する。</p> <p>☆ 客席誘導灯(白熱灯形)を示す場合は、Sを表示してもよい。</p>  <p>☆ 階段に設ける非常用照明(蛍光灯形)と兼用のものは、次の図記号でもよい。</p>  <p>☆ 通路誘導灯の避難方向表示は、必要に応じ矢印を記入する。</p> 

<p>保安用・発電回路用 (建築基準法、消防法によらないモノ)</p> <p>白熱灯</p> <p>蛍光灯</p>	 	<p>☆ 壁付は、Wを記載してもよい。</p>  <p>☆ 床付は、Fを記載してもよい。</p>  <p>☆ 連動式誘導灯用信号装置を示す場合は、次のように記載される。</p> 
---	---	--

コンセント

名称	図記号	備考
<p>コンセント</p> <p>ワイド型</p>	 	<p>☆ 図記号は、壁付きを示し、壁側が塗られる。</p> <p>☆ 図記号は、  で示してもよい。</p> <p>☆ 天井に取り付ける場合は、次のように記載される。</p>   <p>☆ 床面に取り付ける場合は、次のように記載される。</p>  <p>☆ 二重床用は、次のように記載される。</p>  <p>☆ 定格の去し方は、次のように記載される。</p> <p>1) 15 A 125 V は、記載しない。</p>

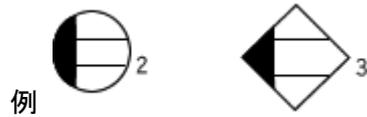
2) 20 A 以上は、定格電流が記載してある。



3) 250 V 以上は、定格電圧が記載してある。



☆ 2 口以上の場合、口数が記載してある。



☆ 3 極以上の場合、極致が記載してある。



☆ 種類を示す場合は、次のように記載される。



		<p>  接地価付接地端子 </p> <p>  漏電遮断器付 </p> <p> ☆ 防雨形は、WP が傍記してある。  </p> <p> ☆ 防爆形は、EX が傍記してある。  </p> <p> ☆ 医用は、H が傍記してある。  </p>
非常用コンセント		図記号は、  としてもよい。

点滅器 (スイッチ)

名称	図記号	備考
<p>点滅器</p> <p>ワイド型</p>	 	<p>☆ 定格を示す場合は、次のように記載される。</p> <p>1) 15A は、記載しない。</p> <p>2) 15 A 以外は、定格電流が記載してある。</p> <p>例  20A  20A</p> <p>3) 必要に応じ、定格電圧が記載してある。</p> <p>☆ 極数を示す場合は、以下の様に表示される。</p> <p>1) 単極は、記載しない。</p> <p>☆ 3 路、4 路又は 2 極は、それぞれ 3、4 又は 2P が記載してある。</p> <p> 3  4  2P  3</p> <p>☆ プルススイッチは、P が記載してある。</p> <p> P  P</p> <p>☆ 位置表示灯を内蔵するものは、H が記載してある。</p> <p> H  H</p> <p>☆ 確認表示灯を内蔵するものは、L が記載してある。</p> <p> L  L</p> <p>☆ 別置された確認表示灯は、○と記載される。</p> <p>例    </p> <p>☆ 防雨形は、WP が記載してある。</p> <p> WP  WP</p> <p>☆ 防爆形は、EX が記載してある。</p> <p> EX  EX</p>

☆ タイマ付は、Tが記載してある。



☆ 遅延スイッチは、Dが記載してある。



☆ 熱線式自動スイッチは、次のように記載される。



☆ 熱線式自動スイッチ用センサは、次のように記載される。

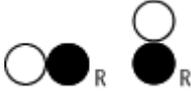


☆ 屋外灯などに使用する自動点滅器は、A及び容量が記載してある。

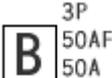
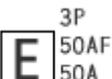


※ 表示順序

	区分	記号	詳細
1	回路の方式	2極	2P
		3極	3P
		4極	4P
2	タイマー	T	
		D	
3	タイマー・オ ート機能	遅れ機能	(照明・換気扇用)
		DF	
4	熱線式自動 スイッチ	RAS	(センサー分離タイプ)
		RA	
5	ランプ表示機能	H	(位置表示灯)
		L	(確認表示灯)
6	スイッチ用途	WP	(防雨)
		EX	(防爆)
		H	(医療)

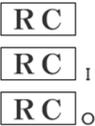
<p>調光器</p> <p>ワイド型</p>		<p>☆ 定格を示す場合は、次のように記載される。</p> <p>例  100W</p>
<p>リモコンスイッチ</p>		<p>☆ 別置された確認表示灯は、○と記載される。</p> <p>例  12</p> <p>☆ リモコンスイッチであることが明らかな場合は、Rを省略してもよい。</p>
<p>リモコンセレクト スイッチ</p>		<p>☆ 点滅回路数が記載される。</p> <p>例  12</p>
<p>リモコンリレー</p>		<p>☆ リモコンリレーを集合して取り付ける場合は、以下の様に表示し、リレー数が記載される。</p> <p>例  12</p> <p>☆ ターミナルユニット付は、T/U が記載される。</p> <p>例  T/U</p>

開閉器

名称	図記号	備考
開閉器		<p>☆ 箱入りの場合は、箱の材質などが記載される。</p> <p>☆ 極数、定格電流、ヒューズ定格電流などが記載される。</p> <p>例 </p> <p>☆ 電流計付は、以下の様に表示し、電流計の定格電流が記載される。</p> <p>例 </p>
配線用遮断器		<p>☆ 箱入りの場合は、箱の材質などが記載される。</p> <p>☆ 極致、フレームの大きさ、定格電流などが記載される。</p> <p></p> <p>☆ モータブレーカを示す場合は、次のように記載される。</p> <p> 又は </p> <p>☆ 図記号  は、 MCCB (Molded Case Circuit Breaker) としてもよい。</p>
漏電遮断器		<p>☆ 箱入りの場合は、箱の材質などが記載される。</p> <p>☆ 過負荷保護付は、極数、フレームの大きさ、定格電流、定格感度電流など、過負荷保護なしは、極致、定格電流、定格感度電流などが記載してある。</p> <p></p> <p>過負荷保護無し</p> <p> 又は </p> <p>過負荷保護付き</p> <p>☆ 過負荷保護付きは、 を用いてもよい。</p> <p>☆ 図記号  は  ELCB (Earth Leakage Circuit Breaker) としてもよい。</p>

電磁開閉器用 押しボタン		☆ 確認表示灯付きの場合は、Lが記載される。
圧力スイッチ		
フロートスイッチ		
フロートレス スイッチ		☆ 電極数が記載される。
タイムスイッチ		

機器

名称	図記号	備考
電動機		<p>☆ 必要に応じ、電気方式、電圧、容量などを示す場合は、次のように記載される。</p> <p>例 </p>
コンデンサ		☆ 電動機と同様。
電熱器		☆ 電動機と同様。
換気扇		<p>☆ 必要に応じ、種類(扇風機を含む)及び大きさが記載してある。</p> <p>☆ 天井付きは、次のように記載される。</p> 
ルームエアコン		<p>☆ 屋外ユニットは O、屋内ユニットは I が記載してある。</p>  <p>☆ 必要に応じ、電気方式、電圧、容量などが記載してある。</p>
電磁弁		☆ 必要に応じ、電気方式、電圧などが記載してある。
電動弁		☆ 必要に応じ、電気方式、電圧などが記載してある。
小型変圧器		<p>☆ 必要に応じ、電圧、容量などを記載される。</p> <p>☆ 必要に応じ、ベル変圧器は B、リモコン変圧器は R、ネオン変圧器は N、蛍光灯用安定器は F、HID 灯(高効率放電灯)用安定器は H が記載してある。</p>  <p>☆ 蛍光灯用安定器及び HID 灯用安定器で、器具に収めるものは、記載しない。</p>
整流装置		☆ 必要に応じ、種類、電圧、容量などが記載してある。
蓄電池		☆ 必要に応じ、種類、電圧、容量などが記載してある。
発電機		☆ 必要に応じ、発電機は、電気方式、電圧、容量及び原動機は、種類、出力などが記載してある。

計器・警報・感知器

名称	図記号	備考
電力量計		<p>☆ 必要に応じ、電気方式、電圧、電流などが記載される。</p> <p>☆ 図記号 Whは、WHとしてもよい。</p>
		<p></p> <p>(箱入り又はフード付)</p>
変流器		☆ 必要に応じ、電流を傍記する。
電流制限器		<p>☆ 必要に応じ、電流が記載される。</p> <p>☆ 箱入りの場合は、その旨が記載される。</p>
漏電警報器		☆ 必要に応じ、種別が記載される。
漏電火災警報器		☆ 必要に応じ、級別が記載される。

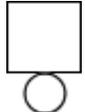
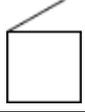
配電盤・分電盤

名称	図記号	備考
配電盤 分電盤 制御盤		<p>☆ 種類を示す場合は、下記の様に記載される。</p> <p>配電盤 </p> <p>分電盤 </p> <p>制御盤 </p> <p>OA盤 </p> <p>警報盤 </p>

屋外

名称	図記号	備考
電柱		種類、長さ、末口径及び設計過重などが記載される。
支線		材質、太さなどが記載される。
支柱		材質、長さなどが記載される。
架空配線		太さ、条数及び電線種別などが記載される。
地中配線		ケーブル種別、太さ、千進数、条数及び保護材などが記載される。

その他

名称	図記号	備考
押しボタン		<p>☆ 壁付けは、壁側が塗られている。</p> <p>例 </p> <p>☆ 2個以上の場合は、ボタン数が記載される。</p> <p>例 </p>
ベル		
ブザー		
チャイム		
ドアフォン		
電話機形インターフォン 親機		
電話機形インターフォン 子機		
スピーカー形 インターフォン親機		
スピーカー形 インターフォン子機		

この配線用図記号は JIS C 0303 構内電気設備の配線図記号に準拠しておりますが、そのすべてを記載しているわけではありません。開閉器・計器、配電盤・分電盤、通信・情報、警告・呼出・表示・ナースコール、電気時計設備、拡声・インターホン・映像設備、テレビ共同受信設備、駐車場管制設備、防災・防犯、共同住宅用警報設備、非常警報設備、消防設備、自動閉鎖設備、ガス漏れ警報設備、無線通信補助設備、監視カメラ設備につきましては一部、または全部を割愛しております。これらは、電気工事士試験の出題範囲から外れておりますため、あえて今覚えなくてもよい記号です。電気工事士となった暁には、JIS C 0303 に基づき図面を読んで仕事に当たってください。

また、記載方法や順序も JIS C 0303 と相違点がありますが、編集上このような記載になっていることをご了承ください。

誤記・誤植・記号不備等がございましたら、恐れ入りますがサイト上のメールフォームよりご連絡くださると幸いです。

OfficeMBM